



2009年10月 石原社長 定例記者会見概要

11月2日午後3時より、石原社長による定例記者会見が放送センター20階、役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<期末期首総括～編成関連>

期末期首の特番では、『おくりびと』を筆頭に、『キングオブコント』や『飛び出せ！科学くんSP』など高い視聴率をマークする番組がいくつも出てきた。10月編成については、夕方の『イブニングワイド』が始まった。スタート時の視聴率としてはまずまずではないかと思う。MCの堀尾さん、長峰アナとも評判がいいので今後に期待している。ドラマは、日曜劇場『JIN—仁—』が好調に推移している。幕末の江戸のセットのスケールなども評判だが、やはりヒューマンドラマとしての構成がしっかりしていることが受け入れられている最大の要因と思う。

石川(真)常務:

この下期から16:53～18:40はローカルで『イブニングワイド』、18:40～19:50をネットで『総力報道！THE NEWS』の編成とした。雑食性ニュース番組『イブニングワイド』の元気なイキの良さや「総力報道！THE NEWS」の本格的なJNNのネットニュースという流れを、さらに定着したものにすべく努力を続けている。『総力報道！THE NEWS』については徐々に視聴率に動きが出てきた。10月以降、JNNの基幹局(大阪、福岡、名古屋、静岡、広島、岡山)を中心に週平均が10%を超える週も出ている。二桁に乗る日はこの他の地域の各局でも頻繁になってきており、確実に上昇の流れが見えている。バラエティでは日曜20時『オレたち！クイズMAN』、水曜20時『時短生活ガイドSHOW』がスタートしたが苦戦している。共に若いプロデューサーが担当しているので、ベテランのプロデューサーがアドバイスするなど、様々な評価や意見を取り入れて修正し、軌道に乗せていきたいと思っている。

特番では明日11月3日『JNN50周年記念 歴史大河スペクタクル 唐招提寺 1200年の謎』が放送される。TBSは今から10年前、創立五十周年を記念し、唐招提寺金堂(国宝)の平成大修理を支援する「唐招提寺2010プロジェクト」をスタートした。今までも修理の進捗にあわせ特別番組を放送してきたが、今回の放送は10年に及ぶ取材の集大成となる。また、このプロジェクトでは、2001年の東京開催を皮切りに北海道から鹿児島、そして今年の奈良まで、全国9つの会場で「国宝・鑑真和上展」「唐招提寺展」を展開してきた。いずれも大盛況で、述べ150万人の動員を記録している。明日の放送は、これまで会場に足を運んでいただいた皆様にも十分に楽しんでいただける作品に仕上がったと自負している。

<営業概況>

上期のテレビ営業状況は、残念ながらタイム、スポットとも前年実績を大幅に下回る着地となった。上期のタイムセールスは、昨年のリーマンショックによるカロリーダウンで大きく売上が落ちた。10月以降も視聴率の低迷でレギュラー スポンサーのカロリーがさらにダウンし、厳しい状況となっている。上期のスポットセールスも前年からの厳しい市況が続き、売上が落ちたが、9月ごろから東京地区の市況に回復の兆しが見えてきており、10月改編で視聴

率の立て直しを図って、シェアを取り戻すべく作業をしていく。

石川(康)常務:

タイムセールスはレギュラー番組のカロリーが大幅ダウン、視聴率も低迷したため、売上を大きく落とした。単発セールスについても 8 月の「世界陸上」で予算を上回る売上を確保したものの、大型スポーツ単発が続いた昨年の実績には届かなかった。10 月以降の改編作業も終了したが厳しい状況が続いている。しかし 11 月に唐招提寺特番やボクシングの内藤亀田戦など大型単発のセールスも控えていて、年末年始や来年 2 月の冬季五輪と合わせて、なんとか売上を挽回していく方針。一方スポットは、前年からの厳しい市況が続き、売上は前年に大きく届かなかった。またスポット 5 局シェアも上期トータルで 1.0 ポイント落として 20.2% だった。10 月以降は、東京地区の投下量が徐々に回復に向っており、第 4 四半期には前年 100% に届く可能性も大きく出てきている。視聴率も 10 月改編で改善の兆しが見えてきていて、サカス広場との連動企画なども活用して、何としてもシェアの回復を目指していく方針。

<映画イベント関連>

映画の今後のラインナップだが、人気アニメが 26 年ぶりに復活、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」が 12 月 12 日に公開される。最新の CG 技術を凝らした壮大な SF 冒険ドラマに仕上がっていると聞いている。その後にも、「レイトン教授と永遠の歌姫」「劇場版 Fate(フェイト)」とアニメ映画が続くが、来年 2 月には、柴咲コウさん主演の「食堂かたつむり」、来春には「花より男子」の井上真央さん主演で「ダーリンは外国人」を予定している。イベントでは 12 月 17 日(木)東京ドームで、「韓流(はんにゅう)フォーカード」の公演を主催する。このイベントには、イ・ビョンホン、チャン・ドンゴン、ソン・スンホン、ウォンビンという韓流(はんにゅう)4 大スターが日本で初めて集結する。韓流ファンの方にはたまらないイベントになる。

<BPO 放送と人権委員会からの勧告について>

勧告という大変厳しい内容を真摯に受け止め今後の番組作りに活かしていかなければならないと思っている。勧告は訂正や謝罪放送は求めているものの、再発防止策が機能していないのではないかという点を強調されている。事前に十分な打合せを行い、事実関係の精査をした上で、MC プロデューサーを機能させるという再発防止策が有効に機能しているのかどうかを改めて総点検するよう現場に指示した。裁判報道を扱う場合、客観的事実を番組で正確に伝えるためには、コメンテーター、MC に事前によく説明して、その上で発言していただくことが大切だと思う。

<TBS R&C> 加藤社長

2009 年日本民間連盟賞で、ラジオ教養番組部門優秀賞を「全国こども電話相談室・リアル！」が、CM 部門でもラジオ CM 第 1 種(20 秒以内)優秀賞「西尾クリーンクリーン/オフィス篇」、ラジオ CM 第 2 種(21 秒以上)優秀賞「自社媒体 PR スポット/ヒバリの声篇」をそれぞれ受賞した。事業部門ではラジオ局として初めて、自社で音声や動画などのデジタルコンテンツを有料販売するためのコンテンツ配信プラットフォームシステムを開発。第一弾として番組パーソナリティでシンガーソングライター「瓜生明希葉(うりゅうあきは)」のワンマンライブの音源を TBS ラジオホームページ内で有料配信中。自社開発のシステムを使えば短い準備期間で販売開始ができるほか、柔軟なコピー制御設定や売上情報を照会しながらの価格設定など自由度の高い運用が可能となる。今後は一層魅力的なコンテンツを提供するとともにオリジナル有料コンテンツの制作、また、他ラジオ局やコンテンツプロバイダから販売の受託などの検討も視野に入れている。

以上